


# 日本語による会議システム



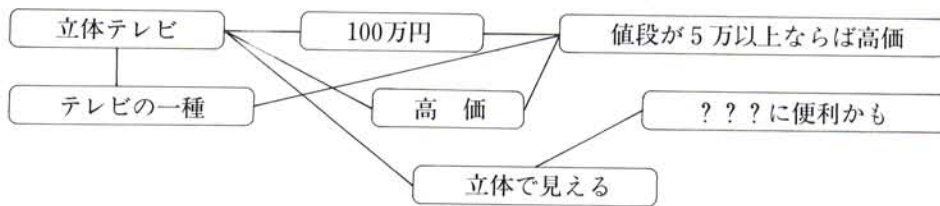
会議君は、コンピュータ内部に仮想の人物を作り  
日本語で会議を行なうためのシステムです。  
人物と簡単な日本語で会話をして教育することにより  
人物は各種の質問に答えられる様になります。

 株式会社 マイクロブレイン

# 知識活用の新時代を開く『会議君』

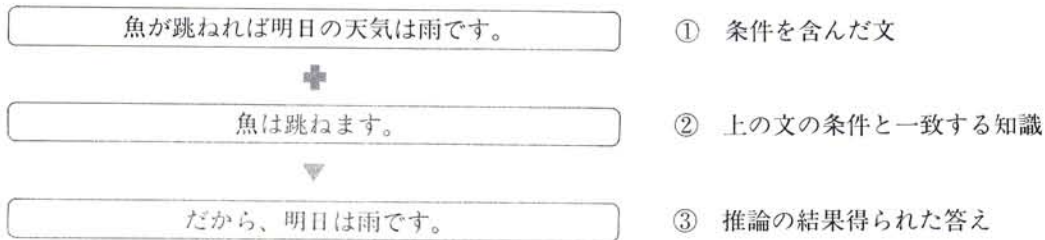
## 知識とは

会議君では、「知識とはそれを使って新しい事柄を生み出せるもの」と考えています。例えば、「立体テレビは100万円です。」という文は知識でしょうか。立体テレビについて何も知らない人物にとってはこの文は単なる文としてしか利用価値がないと言えます。立体テレビについて他の知識を持っていた場合にのみこの文は知識としての意味を持ちます。ほとんどの人は立体テレビはテレビの1種類であること、テレビが5万程度で購入出来ることを知っています。この場合には「立体テレビは100万円です。」から立体テレビが普通のテレビより高価なものであるという事柄を考えることが出来ます。このように2つ以上の文から他の文を考えることが出来る場合にはその文は知識と呼んで差し障りがないと思います。単なる文が知識になる場合もあります。「会議君は4万9千8百円です。」の情報は、会議君が何かを知って始めて有用な知識になります。このように知識とは文の中の単語の関係（ネットワーク）が有効になって始めて利用出来るものです。



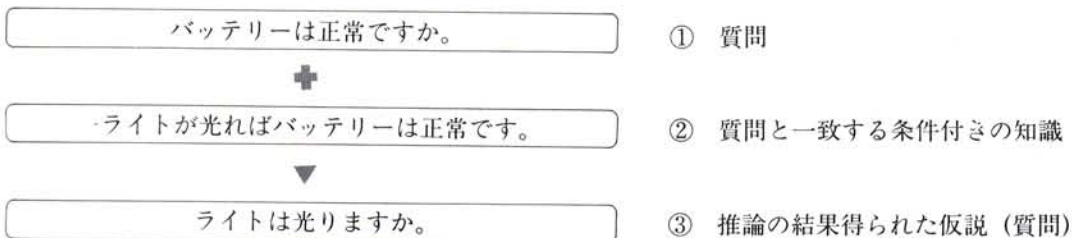
## 推論とは

会議君では、「推論とは知識を使って新しい事柄を生み出す行為」と考えています。例えば、会議君の中の人物は「魚が跳ねれば明日の天気は雨です。」と「魚は跳ねます。」の2つの知識から「だから、明日は雨です。」を推論します。このような推論を繰り返し行なうことにより複雑な問題に対しても簡単な知識で説明することが出来ます。但し、論理的に解釈出来ない問題については答えを見つけることが出来ません。



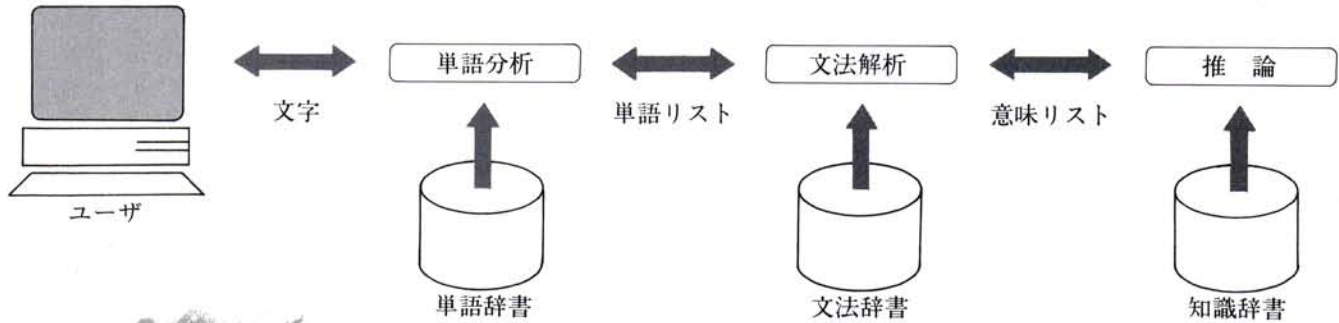
## 仮説（質問）とは

会議君の人物は自分の持っている知識だけでは答えが出ない場合に、仮説をたてて質問をして来ます。例えば、「ライトが光ればバッテリーは正常です。」を知識として持っている人物に対して「バッテリーは正常ですか。」を質問した場合には「ライトは光りますか。」を逆に質問して来ます。人物は「ライトが光りますか。」の知識があれば質問に解答出来るかもしれないと考え質問をして来ます。会議君では、この文を仮説（質問）と呼んでいます。



## 人物との会話

会議君では、日本語で会話をするにより人物に知識を教え、質問をすることにより使用します。会話の文は簡単な日本語の文です。ユーザが入力した日本語の文は単語解析を行われ単語番号のリストになります。単語番号のリストは文法辞書により解析されて人物の理解可能な意味リストに変換されます。人物は意味リストが事実やルールならば覚え、質問ならば解答します。



## 会議君の利用方法

会議君の利用方法は大きく分けて2つあります。1つはすでに出来上がった人物を使い診断や判断をしてもらう方法。この場合は作成済みの人物を購入するか、人物の開発を依頼する必要があります。もう1つの方法は自分で人物を作ることです。この場合は、知識を人物に覚えてもらう必要があります。会議君では日本語入力により知識の追加、編集が行なえるので必要な知識が整理されていれば簡単に人物を作成することが出来ます。会議君を実際に利用するには以下の流れで行ないます。作成済みの人物を使う場合は①は必要ありません。

- ①知識を覚えさせる。(知識を編集する。)
- ②質問をする。
- ③人物からの質問に答える。
- ④人物が解答する。
- ⑤解答へ至る過程を質問する。
- ⑥必要ならば、覚えた知識を忘れさせてから①へ戻り、知識の編集を行ないます。

### START (人物作成)

>ライトが明るく光ればバッテリーは正常です。  
 >セルが回ればバッテリーは正常です。  
 >バッテリーが正常でライトが明るく光らなければ…  
 >バッテリーが正常でセルが回らなければ…

>何が故障ですか。

>ライトは明るく光りますか。  
 >はい。  
 >セルは回りますか。  
 >いいえ。

>はい、セルは故障です。

>なぜ。  
 >ライトは明るく光ります。  
 >セルは回りません。  
 >ライトが明るく光ればバッテリーは正常です。  
 >バッテリーが正常でセルが回らなければセルは故障です。  
 >だから、セルは故障です。

>何が光るかを忘れなさい。  
 >何が回るかを忘れなさい。

- ①知識を日本語で入力して人物に覚えさせます。
- ②人物に質問をします。
- ③人物が仮説をたてて質問をして来ますので答えます。
- ④人物が解答をします。
- ⑤解答へ至る過程を質問します。  
どの知識を使用して答えを得たかを人物が説明します。
- ⑥必要ならば、覚えた知識を忘れさせてから再び①へ戻ります。

## 基本スペック

基本単語	約2万5千語
登録可能単語	約5千語/人
登録知識	約500文/人
音声出力	beep使用
日本語解析	文脈自由文法
推論方式	後ろ向き推論
推論深さ	1から8を設定

## 動作環境

機種	PC98シリーズ
メインメモリ	640K
EMSメモリ	1M以上
F D D	1ドライブ以上
F E P	別途必要
D O S	MS-DOS 3.10以上
エディタ	あれば望ましい

## 使用例

簡単な故障診断の始めの部分を例として説明します。

下線の部分がユーザが入力した文です。

(まず、知識を日本語で入力して覚えさせます。)

ゲスト>バッテリーが正常でライトが明るく光らなければライトは故障です。

田 中>覚えます。

ゲスト>バッテリーが正常でセルが回らなければセルは故障です。

田 中>覚えます。

ゲスト>ライトが明るく光ればバッテリーは正常です。

田 中>覚えます。

ゲスト>セルが回ればバッテリーは正常です。

田 中>覚えます。

(次に質問をします。)

ゲスト>何が故障ですか。

田 中>解りません。

(覚えている知識だけでは答えがでないので、仮説をたてて質問をします。)

田 中>ライトは明るく光りますか。

(質問に「はい」、「いいえ。」で答えます。)

ゲスト>はい。

(質問に対する答えを覚えます。「ライトは明るく光ります。」を覚えます。)

田 中>覚えます。

田 中>セルは回りますか。

ゲスト>いいえ。

田 中>覚えます。

(答えが出たので答えます。)

田 中>はい、セルは故障です。

(答えに至る過程を説明します。)

ゲスト>なぜ。

田 中>セルは回りません。

田 中>ライトは明るく光ります。

田 中>ライトが明るく光ればバッテリーは正常です。

田 中>バッテリーが正常でセルが回らなければセルは故障です。

田 中>だから、セルは故障です。

ゲスト>■

- 資料請求、お問い合わせは、…
- 会議君を使ったシステム開発は、…
- 人口知能に関することは、…

×モ



株式会社  
マイクロブレイン

〒206 東京都稲城市矢野口2059 ペアパレスAOKI 103

TEL (0423)70-7850, FAX (0423)70-7851

営業時間 平日10時~17時

会議君 Ver1.00

標準価格 49,800円(税別)